
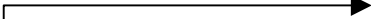



コントロ - ラの外部センサ接続説明



例
松下電工製
煙感知機
けむり当番
(移報接点付き)
SH18453Kを幹旋します。

煙センサ






コントロ - ラ本体
DW - C100A

コントロ - ラは基本的には無線によるセンサ機器を使用した場合を想定した受信機ですが、外部接続機器の出力が警報時に短絡動作で無電圧接点を有する他のセンサ機器を接続することができます。
(コントロ - ラ本体の警報メッセ - ジ等は外部センサの内容で稼動します。)

例えば熱センサ(例 熱当番 移報接点付き)、煙センサ(例 煙当番 移報接点付き)、緊急ボタン、呼出しボタン、ドアセンサ、シャッタ - センサ、人感センサ、赤外線ラインセンサ、近接センサ、マットセンサ、ショックセンサ等、様々なセキュリティ用センサを接続することができます。




熱センサの外部センサ使用の説明



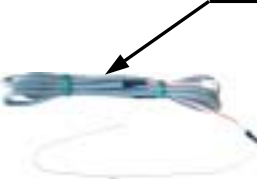
例
松下電工製
煙感知機
けむり当番
(移報接点付き)
SH18453Kを回転します。

煙センサ



熱センサ
DW - F 6 0 0 A

警報入力ケーブル

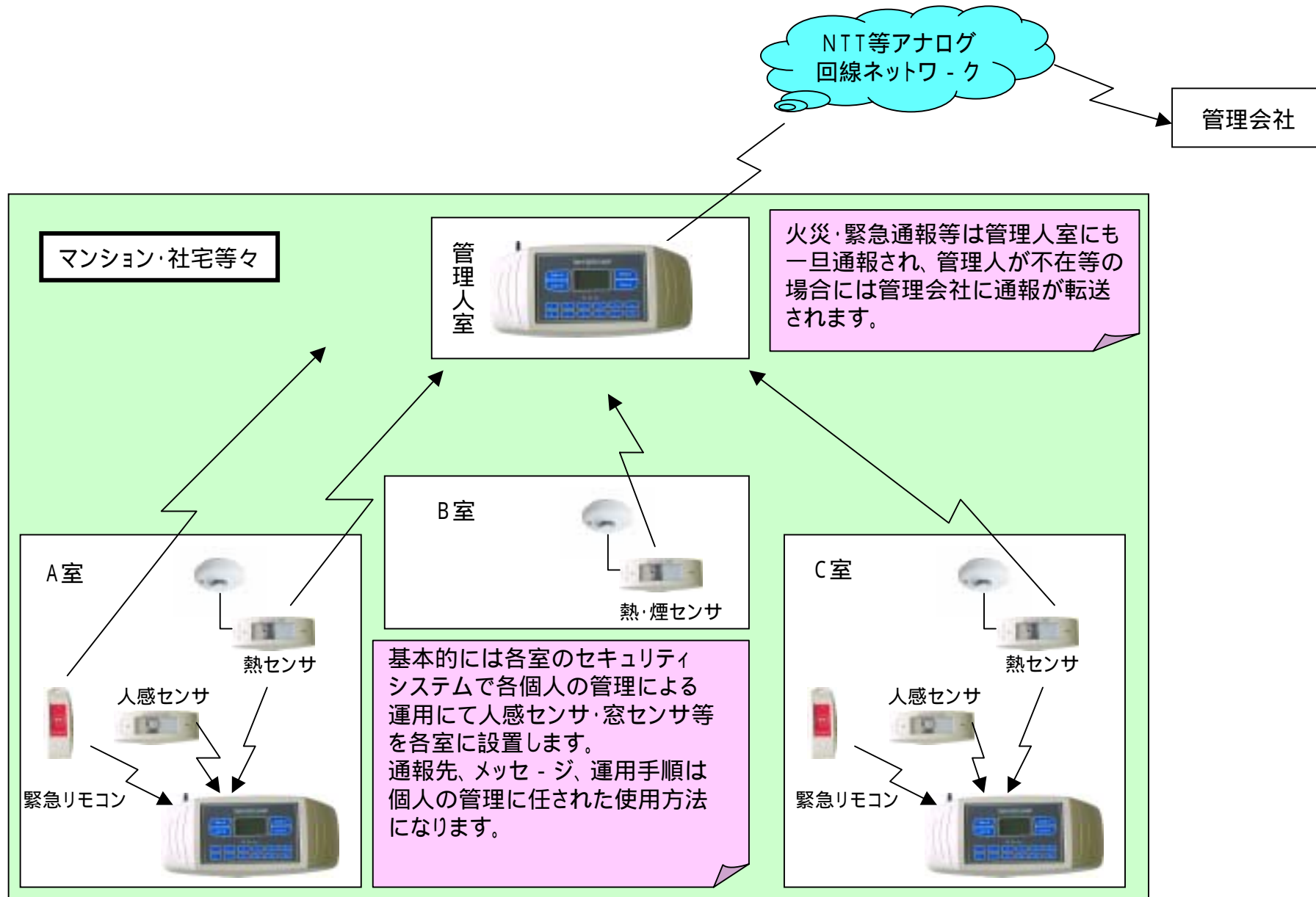


熱センサは外部に煙感知器等の外部センサを増設できる機能を持っていますが、外部接続機器の出力が警報時に短絡動作で無電圧接点を有する他のセンサ機器を接続することができます。
(コントローラ本体の警報メッセージ等は煙センサ警報の説明で稼働します。)

例えば他のセンサの煙センサ(例 煙当番 移報接点付き)のほか緊急ボタン、呼出しボタン、ドアセンサ、シャッターセンサ、人感センサ、赤外線ラインセンサ、近接センサ、マットセンサ、ショックセンサ等、様々なセキュリティ用センサを接続することができます。
設置にあたり到達距離・安定度等の確認とテストを必ず行って使用してください。
使用に際しては付属品の警報入力ケーブルをご使用ください。



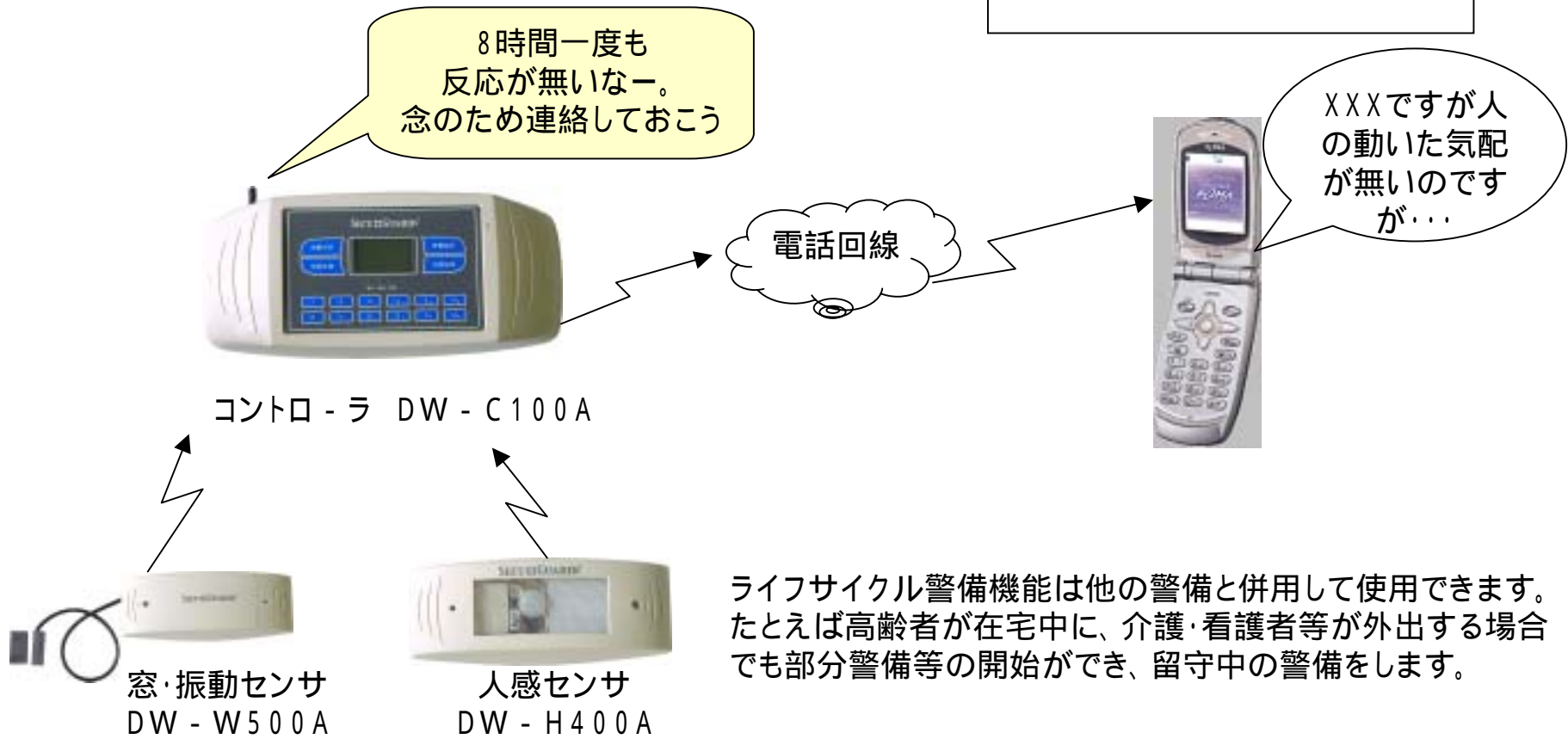
マンション・社宅等相互防災防犯システム



ライフサイクル警備の説明

ライフサイクル警備とは窓・振動センサ又は人感センサ等をライフサイクル警戒用センサとして設定しておき、設定されたセンサが一定時間、動作を感知しない場合、予め登録しておいた連絡先に自動的通報を行うことです。

ライフサイクル異常検出時間は3分間～200時間までの間で設定できます。
通報メッセージは予め録音された最大3種類のメッセージの中から選ぶことができます。



ライフサイクル警備機能は他の警備と併用して使用できます。たとえば高齢者が在宅中に、介護・看護者等が外出する場合でも部分警備等の開始ができ、留守中の警備をします。

ネットワークカメラとの連動方法の説明

アラーム画像転送機能の利用

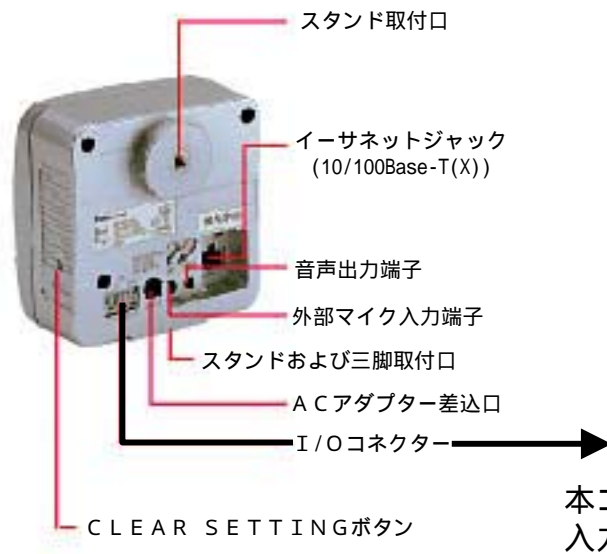


外部スイッチと組み合わせて、照明の点灯やドアの開閉などアクションがあったときに画像を転送することができる「アラーム画像転送機能」を搭載。

上記機能を利用することによりコントローラにて警報を受信した時に出先の携帯電話等に自動的にネットワークカメラの映像をメールに画像を添付して送ることができます。

送出形式

- 1 - コントローラの警報に連動して携帯電話等にカメラの映像をメールに画像を添付してメールします。
- 2 - 携帯電話等により電話回線による指示信号により携帯電話等にカメラの映像をメールに画像を添付してメールします。
- 3 - 携帯電話等により電話回線による指示信号により12秒間隔で12回、携帯電話等にカメラの映像をメールに画像を添付してメールします。



注意 本機能・接続についてはコントローラ本体の電話回線とは別にインターネットの可能なネットワークとメール送信の使用条件等が別に必要です。

本システム例では松下電器IPカメラ BB-HCM100を使用した例です。